



社会福祉法人 交響は、こんなところです



Since 1981



魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま
プラチナ認証 法人



交響は、SDG s NO.3
持続可能な地域福祉の
向上に向けて努力して
います。

[法人本部 きつつき・うぐいす共同作業所]
〒732-0013 広島市東区戸坂南一丁目27-2
TEL (082) 229-7005 FAX (082) 229-7008
URL <https://www.koukyou.or.jp/>
E-mail kitutuki@koukyou.or.jp

[SOARきつつき(ベーカリーカフェ)]
TEL (082) 236-7380 FAX (082) 236-7381
[生活介護事業所 和音]
TEL (082) 847-6160 FAX (082) 847-6165

[地域支援室 交響 交響ホーム]
TEL (082) 562-2025 FAX (082) 562-2028
[東区障害者基幹相談支援センター こうきょう]
TEL (082) 573-0140 FAX (082) 229-7008

魅力ある福祉介護の職場宣言ひろしま プラチナ認証法人です



働きやすい職場づくりや人材育成，業務改善，介護サービスの質の向上等の一定の水準を満たしている福祉・介護サービス関連法人を広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会が認証し，公表する制度です。

現地確認のコンサルタントによる評価

[総合評価]

- ・ 10年後のモデル賃金が賃金水準の平均以上である。
- ・ 新人研修での実地研修，外部研修など研修に積極的である。
- ・ 自己点検の点数，離職率の低さから職員の満足度が高い。
- ・ 訪問時の雰囲気もよかった。

[プラチナ認証法人としての強み]

- ・ 離職率が低く，職員の満足度が高い職場です。
- ・ 毎年昇給があるため，勤務年数に応じて上げていくことができる。
- ・ 子ども支援休暇(独自)等，職員の立場での職場環境を整えています。

あなたに会えてよかった…

利用者・家族・職員が互いにおもい合える支援を

- ・障がいのある人たちとともに 日々を過ごし、「ともに笑い、ともに悲しみ、ともに感動する」…この体験が私たち自身を成長させてくれることに気づく。
- ・利用者の仕事をどうしていくか、プログラムを考えること、生活をどう支援するか…など スタッフみんなで考える。
- ・誰かのことを考える 私たちは利用者のことを考える…ところが、あるときに「元気？」と利用者から問われる。

みんな一度限りの尊い命 とともに過ごしながらお互いをおもい合う
「あなたに会えてよかった…」と感謝する自分に気づく…



そんな職場でありたいとおもっています





Over the moon to work with you. 交響は、約17年間に及ぶ関係者の「おもい」が土台となって、今があります…

歴史

Story



↑ 小さな民家がはじまりです。

みんなでテーブルを囲んで… →



since 1981 小規模作業所からはじまりました。

- 1979 養護学校の義務化により、
重度・重複障害の人も学校へ行けるように…
- しかし、次は養護学校卒業後にいくところがない…
- 1981 小規模作業所を開設



すべての障害者に働く場と生活の場を
「夢…つくろう」をキャッチフレーズに

「共同作業所は、わが国に生まれ育った障害者とその家族、ボランティアによる、障害者の働く権利と文化的に生活する権利、社会活動に参加する権利を自らの手で守り、その内実を創り出そうとする、世界に類のない独特の活動体です。」（故 秋元波留夫氏 精神科医）

1997 みんなの力で社会福祉法人化を実現
ねがいは、みんな「交わり響き合う」 そんな法人に



事業所 紹介写真

日中活動の場

法人本部 所在 広島市東区戸坂南1-27-2



第一・第二きつつき共同作業所 生活介護(第一 共生型) 各20名



うぐいす共同作業所 生活介護 20名 ↑



SOAR(ソアー) ベーカリーカフェSOAR 就労継続B 25名 ↑

グループホーム



交響ホーム戸坂山根 (ホーム事務所) 10名



交響ホーム清風台 4名 ↑

生活支援ホーム「i」 3名→

- ・空床型ショートステイ 男女各1名分
- ・広島市東区障害者基幹相談支援センター こうきょう
- ・地域活動支援センターⅢ型 きつつき第三



交響ホーム戸坂第一 6名



交響ホーム戸坂第二 10名





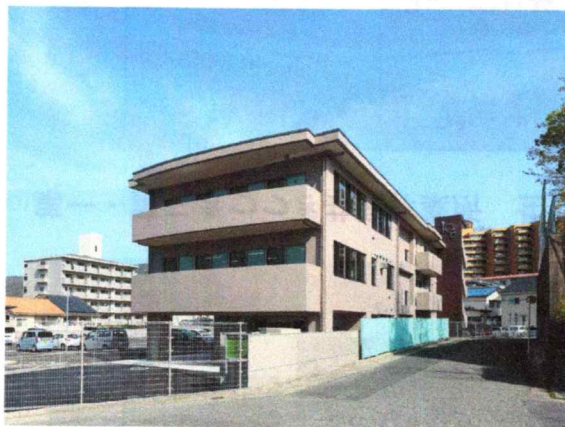
Over the moon to work with you.

地域共生社会へ向けて 重い障害があっても安心して暮らせるように

挑 戦

Challenge

2021年 重症心身障害（医療的ケア）の方が利用できる生活介護開所 和音 開所



地域みなさんがつかえる場所に



特殊浴槽 完備

重症心身障害の
みなさんの
入浴支援も
実施しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

重症心身障害という重い身体障害を重複する人、たん吸引などの医療的ケアがいる人たちには、まだまだ安心して通える事業所は少ないです。

知的に重い人たちも支援の難しさがあり、進路に悩むこともよく聞きます。

家族の支えも多く必要です。そういった人たちの暮らしを家族を含めて、法人としてほんの少しでも応援できる事業所です。

そして、地域共生社会の実現に向けて、地域みなさんの活動や災害時の避難場所としても使えるように設備されています。



身体・知的に重い人の支援には広い作業室が必要です

実施事業 日中活動 生産活動中心型事業

(生産活動中心) 生活介護事業 ● 第一きつつき共同作業所

(製パン・製菓グループ 10名程度)

小規模作業所（社会福祉法人化の前身）から続く
製菓・製パンは、高い評価を頂いています。



SOAR パン工房



オリジナルレシピの
製菓事業

製パンによるベーカリーカフェSOARの店舗運営と
協力機関、団体への訪問販売を実施



ひろしまS-Sーサミット
(スナック部門) 最優秀賞



● SOAR(ソアー) きつつき (定員25名)

就労継続B型事業



スタッフインタビュー

SOAR(ソアー) きつつき (就労継続B型) 勤続6年



利用者さんと一緒にパンの販売や製造をしており、楽しく働きたい・スキルアップをしたい・一般就労をしたいなど、それぞれの目標に合わせた支援をしています。安心して楽しく働ける環境づくりやニーズに沿った作業設定、また、月に4回程接遇や対人スキル・作業スキルを高めることを目的とし、利用者さんに向けた接客講座を行なっています。学ぶだけではなく楽しめるプログラムとなっています。

毎日、一生懸命取り組むことで、苦手だった作業や接客、成形ができるようになる姿や少しずつ自信をつけていく姿を身近で見守ることができ、嬉しさややりがいを感じています。「笑顔が素敵ね」「頑張ってるね」「このパン美味しいよ」と声をかけてくださるお客様も多く、地域の方々からも応援して頂けているのだと感じています。日々、支援をしていく中で、難しさや悩むこともありますが、利用者さんの笑顔や頑張る姿を見ると、私も元気やパワーをもらっています。

スタッフインタビュー

きつつき共同作業所（生産活動中心 生活介護） 勤続5年



お菓子班は10人前後の利用者さんと職員3人で主にクッキーやマドレーヌ、ケーキ、パンの製造を行っています。利用者さんの調子に合わせた仕事量の調整や仕事内容を考え、テレビの話やご飯の話をしながら作業をすることで、仲間に負担なく、楽しく作業ができるように心がけています。

お菓子班の利用者さんは言葉でコミュニケーションができると思われそうですが、実際には言葉で伝えても、本当は伝わっていない時や、間違って解釈してしまっている時があるため、ゆっくり理解できるように言葉以外のものを使って伝えていくことも必要です。

また一方では、言葉で伝えることができるため、本当の思いだったり、事実を隠して伝える方もいます。

そういった方が隠さずに思いを伝えられるような関係性を築けて、少しずつでも本音を引き出していけるようになった時にやりがいを感じています。

障害種別、生産活動中心、広汎性発達障がい（自閉症）、その他の活動など、3ヶ所の事業所を実施

日中活動 生活介護 1

● 第一きつつき共同作業所（生活介護事業 定員20名）



広島が本社の企業から
印刷仕事を委託されています。
工賃の中心的な生産活動です。



身体の障害のある人たちが中心となっているグループです。
P.T.の指導を受けて、リハビリを行ったり、体調管理をしながら、
作業を行っています。

平和公園の千羽鶴再生紙名刺は、代表的な仕事になっています。



家庭用ふきんの製造



一番大きなグループです

● 第二きつつき共同作業所（定員20名）

スタッフインタビュー

きつつき共同作業所（生活介護）勤続2年

きつつき作業所では、主に知的障害、身体障害の方が働いています。作業内容として、建築資材の組み立て（デッキ）・ふきん・千羽鶴再生・名刺印刷など複数の仕事に取り組んでいます。支援を行う上で、一人一人ができることを大切にしています。作業内容や個人に合わせたスケジュール作成、集中できる環境づくりなど本人に合わせた支援を心掛けています。

入社したばかりは、なかなか思いを汲み取ることが難しく悩むこともありました。先輩方が優しく丁寧に教えてくださったり、特性について学ぶ機会も多く、少しずつではありますが、思いを汲み取るようになりました。日々関わりながら、利用者の方の事を理解し、難しかったことが少しずつ取り組めるようになったりと、一緒に喜びを感じることができるとてもやりがいのあるお仕事です。



日中活動 共生型サービスの実施で、これからもいっしょに…

● 第一きつつき共同作業所

共生型サービス(老人デイサービスの定員内 一部追加)
平成31年4月 認可予定

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律により、「**障害者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所においてサービスを利用しやすくする**」、…中略…
高齢者や障害児者が共に利用できる「共生型サービス」を介護保険法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法に規定しました。

厚生労働省 事務連絡平成30年 1月10日



65歳になったら、
介護保険施設へ…
…なんて言わない

支援できるまで、一緒に
笑顔ですごそう…

平成31年節分レクにて





Over the moon to work with you.

比較的障がいの重い人たちが、楽しい日常を送れるようにプログラムを考えます

合わせる

Fitting

日中活動 生活介護 2



うぐいす共同作業所 (定員20名)



広汎性発達障害（自閉症など）や集団生活が苦手であったり、活動環境に配慮が必要な利用者のみなさんのグループです。

スタッフは、常にその日その日を振り返りながら、パーテーションなどを利用して、環境改善を行うなど、スタッフのチームワーク、家族とのコミュニケーションを大事にしています。

スタッフインタビュー

うぐいす共同作業所（生活介護） 勤続5年

うぐいす共同作業所では、主に広汎性発達障害（ASD／自閉症スペクトラム障害）の方たち多く利用されています。自閉症の障害特性を理解して、ひとりひとりに合わせた作業を行えるように支援をしています。（一社）千羽鶴未来プロジェクトとの共同事業で、千羽鶴の解体や千羽鶴の色仕分けを行っています。また、その人の特性にあった作業を数種類を行うことで、重い障害の方も「はたらく」意識をもてるようにしています。

障害の特性や程度からコミュニケーションをとることが難しい場面が多くありますが、職員の関わりや、支援を積み重ねることによって、信頼関係を気づけたとき、とてもやりがいを感じることでできる職場だと思います。



スタッフインタビュー

生活介護事業所 和音 勤続2年



和音では、利用者さんの生活スキルが向上できるよう自立を目指した個別支援を行っています。日中プログラムは、主に作業と活動に分かれています。作業は、千羽鶴の解体や外部から受注した商品の組み立て（もみじ饅頭の箱折り）など様々な作業をしており、利用者さんがメインで取り組むため見守りを行いながら制作物の検品などを行っています。

また、行事（クリスマス・ハロウィンなど）や活動（運動・音楽・ソーシャルスキルトレーニングなど）にも力を入れおり、利用者さんと充実した時間を過ごしています。

こうした日々の中で利用者さんとの信頼関係を築き、「楽しい」「心地がいい」と思える居場所になれるよう笑顔で接することを心がけています。関わる中で、心が安らぎ笑顔いっぱいな姿を見られた時に、ここに来て良かったなと心からやりがいを感じています。

日中活動 きつつき第三作業所（地域活動支援センターⅢ型・グループホーム）



主に精神障害のある利用者さんが中心です。人生の途中で障がいを抱えてしまい、生活のリズムづくりや一步一步、回復をめざすことが必要な方たちがいます。きつつき第三作業所は、一人ひとりのリズムに合わせて通うことができるようにと、利用がしやすい自治体の制度である地域活動支援センターⅢ型としています。

スタッフは食事の管理や投薬管理、日々の暮らしのサポートなどをおこないます。



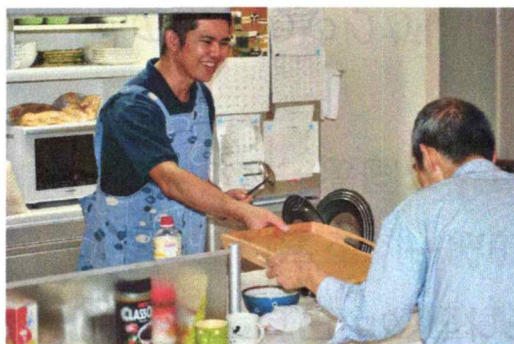
Over the moon to work with you.

地域課題で緊急受入にも対応することもあり、地域の福祉資源としての役割が高まっています。

安心感

Happiness

グループホーム 6ヶ所 清風台・戸坂第一・戸坂第二・戸坂山根・生活支援ホーム「i」



当法人には、第三作業所のホームを入れると6ヶ所のグループホームがあり、すでに37人の利用者が生活をしています。

働くことも大事、でも安心できる暮らしがあってこそ… ホームのスタッフは、支援はひとりの場面が多いけれど、チームワークはバツグンです。利用者のホームでの様子を伝え合い、一人ひとりのいろいろな情報を知り、暮らしをつくっていきます。集団の暮らしではあるけれど一人ひとりのかけがえのない暮らし… そんなおもいで支援をしています。

また、地域で緊急に支援が必要となった方がいた場合もチームワークで対処します。

スタッフインタビュー

交響ホーム（グループホーム） 勤続5年

交響ホームでは現在約35名の方が生活されています。日中は作業所などで仕事をし、仕事を終わるとグループホームに帰宅されます。

ホームでは日中の疲れを取ってもらえるようリラックスできる環境づくりを心掛けています。一般的な家庭と同じ作りで一人ひとりに居室があり、テレビやラジオ、漫画など自分がしたいことをされながらのんびりされています。

私の仕事のやりがいは、いつも通り夕食を作り、食べ終わると「今日のご飯美味しかったよ！ありがとう」と感謝の言葉をもらったり、笑顔で過ごされている時になったと実感するとき、楽しい空間になって良かったなと感じることが嬉しく、もっと頑張ろうと感じます。



広島市東区障害者基幹相談支援センター こうきょう

● 基幹相談支援業務

広島市からの委託業務です。

- ・ 総合相談，専門相談
- 3障害対応ワンストップ相談，困難事例の対応等
- ・ 権利擁護，虐待防止のための活動
- ・ 地域の関係機関をネットワーク化し，広島市自立支援協議会等の業務の実施

● 広島市委託相談支援業務（一般相談）

広島市からの委託業務です。主な業務は

- ・ 障害者福祉サービスとの利用援助
- ・ 社会資源を活用するための支援
- ・ 社会生活力を高めるための支援
- ・ 権利擁護のための必要な援助

など，障がいのある人の暮らしについての相談に対して，福祉事業所等と連携して対応します。

● 特定相談支援業務（計画相談・障害児等）

サービス等利用計画の作成や更新，モニタリングなどを実施して，福祉サービスの利用調整を行います。

● 医療的ケア児者の方への福祉コーディネーター

広島市にお住まいの医療的ケア児・者と必要な医療・福祉・教育などの社会資源をつなぎます。





Over the moon to work with you. 地域における公益的な取組（社会福祉法人が地域の資源として）

共生社会への使命

Inclusive Society

地域とともに… 社会福祉法人として公益的な事業も大事にしています



⇐ **きつつき夏まつり**（毎年7月開催）

すでに小規模作業所から数えて37回、作業所のことを知ってもらいたい、作業所に足を運んでももらいたい…。

日頃からの支援に感謝して開催しています。これからも「交響」の地域活動の原点です。

地域であたりまえの存在として…



地域とつながる3つの広場

⇐ **らくらく広場**（月1回）

地域の子どもたちの交流の場を同一地域の社福4法人と企画

⇐ **へさか福祉のひろば**（毎年11月開催）

地域に事業所の箒をもっと知ってもらいたいと願い実施しています。



➤ **福祉通りあいあい広場**（毎年5月開催）

すでに30年以上応援して頂いている地域で、感謝を込めて開催しています



Over the moon to work with you.

なによりも笑顔、そしてその表情から「おもい」を受け止める…

わらって…

Smile

支えあい、ともにつくる…ことを大事にしています



個別支援計画の説明 家族(保護者) 面談をしています。

できるだけ、利用者本人が分かりやすいように
楽しかったり、がんばってみようと激励したり…

スタッフも利用者と素晴らしい時間を

「ともにつくる」 そんな思いで…



なによりも
えがおを大事にしなから



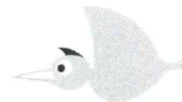
がんばってるねえ…



給食おいしかったよう…

こんな未来もご紹介

給与 例



暮らしの安心感

Recreation

勤続10年目 女性職員（男女差はありません）社会福祉士 自宅から通勤
基本給 248,200 資格・職務手当 10,000 賞与3.5ヶ月分
交通費, 超過勤務月10時間程度 年収 4,261,000円

休日には、こんなことも



← 年齢はバラバラですが、仲の良い職員で、川にSUPをしに行きました。ほかにBBQをしたりすることもあります。 2021.7



若手職員からベテラン職員まで一緒に身体を動かしています。職員の家族も参加して、楽しんでいます。

きつつき共同作業所 生活支援員



気の合う職員仲間と、USJに行き、はしゃぎました…
2019.10

休みの日に、友人と登山をしたり、自転車に乗ることを楽しんでいます。

うぐいす共同作業所 生活支援員





おいしいお菓子 みんなで工賃アップ

[happiness](#)

交響でいっしょに働きましょう

2017.10.15. 法人化20周年記念式 職員誓いのことばから

支援者として仕事をしているのに、実は辛くなった時などは、仲間の笑顔に助けられ、心から支えられて日々働くことが
できていることに気がきます。

これから一人ひとりの命と心を大切に、人生が輝くものになるよう、「ともに」成長しながら歩んで



ホームのスタッフ みんなの暮らしの応援団



本人の支援 本人家族の意思決定をたいせつに